

-(으)ㄹ 양이면

~するつもりなら

意図を条件として提示する古風な文語です。日常会話にはまず出てきません。

■ つけ方

語幹	形	例
パッチムなし	-ㄹ 양이면	가다 → 갈 양이면
パッチムあり	-을 양이면	먹다 → 먹을 양이면
ㄹ 語幹	-ㄹ 양이면	살다 → 살 양이면
近い形	-(으)려면	より一般的
後ろ	必要な条件	-아/어야 한다
分かち書き	양 は依存名詞	갈 양이면

■ -(으)려면 どう違うか

意図を条件として示します。 제대로 할 양이면 시간이 더 필요합니다 (ちゃんとやるつもりなら時間ももっと必要です)。

-(으)려면 とほぼ同じ意味ですが、 양이면 は古風で文語的です。小説や格式ある文章に現れ、日常会話では 려면 が普通です。

後ろには必要な条件が来ます。「そうするつもりなら、これが必要」という組み立てです。

-(으)ㄹ/는 양 とは別物です。そちらは「かのように」という見せかけの描写で、 양이면 は意図の条件です。

■ 例文

- 1 기왕 할 양이면 제대로 해야 한다.
どうせやるつもりなら、きちんとやるべきです。
- 2 떠날 양이면 미리 알려 주게.
発つつもりなら、前もって知らせてくれ。
- 3 이 길을 갈 양이면 각오를 단단히 해야 한다.
この道を行くつもりなら、覚悟を固めるべきです。
- 4 부탁할 양이면 사정이라도 설명해야지.
頼むつもりなら、事情くらいは説明すべきでしょう。
- 5 직접 만들 양이면 재료부터 골라야 한다.
自分で作るつもりなら、材料から選ぶべきです。
- 6 끝까지 갈 양이면 지금 결정하십시오.
最後まで行くつもりなら、今決めなさい。

■ 紛らわしいもの

-(으)려면
「するつもりなら」で一般的です。 양이면 は古風な文語です。
가려면 (一般) / 갈 양이면 (文語)

-(으)ㄹ/는 양
「かのように」で見せかけを描きます。形は似ていますが別物です。
아는 양 (かのように) / 알 양이면 (つもりなら)

-(으)ㄹ 거면
「するつもりなら」で日常的。
갈 거면 (日常)

■ まちがえやすい点

- X 갈 양이면
○ 갈 양이면
양 は依存名詞なので分かち書きします。
- X 친구야, 갈 양이면 일찍 가.
○ 친구야, 갈 거면 일찍 가.
日常会話では 거면 が自然です。
- X 살을 양이면
○ 살 양이면
ㄹ 語幹のあとは -ㄹ 양이면 です。